

平成22年度決算に係る

定期監査調書

平成23年6月

鳥取県埋蔵文化財センター

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等……………	1頁
	(1) 指摘事項 (2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況……………	1
3	組織及び業務調べ……………	1
4	職員の定員、現員調べ……………	2
5	役付職員の調べ……………	2
6	主な事業に関する調べ……………	3
7	収入証紙取扱額調べ……………	10
8	収入事務処理状況調べ……………	10
	(1) 分担金及び負担金 (2) 使用料 (3) 手数料	
	(4) 財産収入 (5) 諸収入 (6) 現金の取扱状況	
9	収入未済額調べ……………	12
10	未収金回収促進のための取り組み状況調べ……………	12
11	不納欠損額調べ……………	12
12	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ……………	12
	(1) 負担金 (2) 補助金 (3) 交付金 (4) 委託料	
13	工事請負費調べ……………	20
14	財産に関する調べ……………	21
	(1) 公有財産 (2) 金券類の受払状況 (3) 債権	
15	財産の貸付及び使用許可調べ……………	24
	(1) 土地及び建物 (2) 物品	
16	借受不動産明細調べ……………	25
17	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ……………	26
	(1) 職員住宅 (2) 職員駐車場	
18	自動車（二輪を除く）の管理状況調べ……………	27
19	寄附物件の受納状況調べ……………	27
20	備品の処分状況調べ……………	27
21	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ……………	27
22	埋蔵文化財の調査と研究……………	28
23	埋蔵文化財保護思想の普及状況……………	29
24	埋蔵文化財関係職員等の研修……………	33
25	文化財保護の資料収集及び活用状況……………	33
26	出土品の整理及び公開状況……………	33
○	意見、要望等……………	36

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

該当なし

(2) 監査意見

該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

該当なし

3 組織及び業務調べ

局（所）名	課名	係(班)名	課の主な所掌事務
埋蔵文化財センター		総務係	・埋蔵文化財の調査研究に関すること
		企画研究係	・埋蔵文化財関係職員その他関係者の研修に関すること
		青谷上寺地遺跡調査係 (青谷調査室)	・埋蔵文化財の発掘調査及び保存に係る指導及び助言に関すること
		発掘事業室	・出土品の整理及び公開に関すること
		調整係	・埋蔵文化財発掘調査に係る記録の収集整理に関すること
		調査担当 (琴浦調査事務所)	・その他埋蔵文化財の保存及び活用を図るために必要な事項に関すること

4 職員の定員、現員調べ

(平成23年4月1日現在)

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		計			備考
	当 年	該 年度 現在	当 年	該 年度 現在	当 年	該 年度 現在	当 年	該 年度 現在	22.4.1 現在	
定員	29	29	0	0	0	0	29	29		
現員	27	25	0	0	0	0	27	25		
過不足(△)	△2	△4	0	0	0	0	△2	△4		
臨時職員	1	1	0	0	0	0	1	1		緊急雇用 22. 4. 1~22. 9. 30 1名 22. 6. 1~22. 9. 30 1名 22. 6. 1~23. 3. 31 1名 22. 10. 19~23. 3. 31 2名
非常勤職員	4	4	0	0	0	0	4	4		一般事務
	3	2	0	0	0	0	3	2		事務補助
	1	2	0	0	0	0	1	2		発掘調査員
	1	1	0	0	0	0	1	1		調査研究補助員
	0	0	0	0	0	0	0	0		整理作業員 22. 4. 5~23. 3. 25 23名 22. 6. 16~23. 3. 25 9名 22. 7. 16~23. 3. 25 5名 22. 9. 14~23. 3. 25 2名 22. 12. 1~23. 3. 25 3名 発掘作業員 22. 4. 28~22. 12. 17 178名 22. 5. 24~22. 11. 30 10名

5 役付職員の調べ

(平成23年6月1日現在)

職名	氏名	在職期間		備考
所長	久保 穰二郎	5年	2月	
次長	中尾 淳一	2	2	次長兼総務係長
発掘事業室長	山柝 雅美	3	2	発掘事業室長兼調整係長

6 主な事業に関する調べ

事業名	概要																		
<p>青谷上寺地遺跡発掘調査事業</p> <p>決算見込額 42,512千円</p> <p>(財源内訳) 国庫支出金 18,754千円 一般財源 23,638千円 その他 120千円</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ○国史跡青谷上寺地遺跡を整備・活用していくために必要なデータを得る。 ○遺跡の詳細な内容を確認し、構造や景観などの実態解明を図る。 ○「交易拠点としての港湾集落」の具体像を探る。 <p><参考>青谷上寺地遺跡の発掘調査経過</p> <p>平成10年度から平成13年度まで、山陰自動車道及び県道建設に伴う事前の発掘調査が実施された。その後、国史跡指定に向け遺跡の範囲確認に重点を置いた「第一期調査(平成13年度～平成17年度)」、遺跡の成り立ちと中心域縁辺の様子を明らかにし、周辺関連遺跡の確認を行う事に重点を置いた「第二期調査(平成18年度～平成20年度)」を実施し、現在はこれらの調査を経て、青谷上寺地遺跡が最も栄えた弥生時代後期後葉の集落全体像の解明を目指した「第三期調査(平成21年度～)」を実施している。</p> <p>これまでの調査で、青谷上寺地遺跡の範囲は33haに及ぶことが分かり、中心域とされる4haを含めた14haが平成20年3月28日国史跡として指定(平成22年8月5日追加指定)されているが、発掘調査は全体の1割にも満たない1.9haにしか及んでいない。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ○発掘調査 <p>遺跡の盛期である弥生時代後期の中心城南側における集落様相解明を目的とした発掘調査を行うとともに、調査状況を公開した。</p> <table border="1" data-bbox="512 1099 1374 1301"> <tr> <td>調査面積</td> <td>300㎡</td> </tr> <tr> <td>調査期間</td> <td>5月24日～11月30日</td> </tr> <tr> <td>調査公開</td> <td>5月25日～11月29日(見学者:延532人)</td> </tr> <tr> <td>現地説明会</td> <td>11月6日(来場者:90人)</td> </tr> <tr> <td>報告書作成</td> <td>平成22年度発掘調査概要報告</td> </tr> </table> ○古環境調査 <p>景観復元プロジェクトチームにより平成20年度から取り組んできた青谷上寺地遺跡の景観復元の成果の取りまとめを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遺跡が最も栄えていた弥生時代終り頃の青谷平野の景観を再現したコンピューターグラフィック(CG)の作製を行った。 ・調査研究成果を取りまとめた報告書の作成を行った。 <p>※景観復元プロジェクトチーム(外部専門家3名、センター職員8名で構成)</p> <p style="text-align: center;">景観プロジェクトチーム外部専門家</p> <table border="1" data-bbox="539 1637 1417 1798"> <thead> <tr> <th>専門分野</th> <th>氏名及び所属・職名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>古環境学</td> <td></td> </tr> <tr> <td>年代測定学</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地質学</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ○埋蔵環境調査 <p>地下環境(地下水)を継続的に観察した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水位観測 ・水質調査(pH、酸化還元電位、溶存酸素量) 	調査面積	300㎡	調査期間	5月24日～11月30日	調査公開	5月25日～11月29日(見学者:延532人)	現地説明会	11月6日(来場者:90人)	報告書作成	平成22年度発掘調査概要報告	専門分野	氏名及び所属・職名	古環境学		年代測定学		地質学	
調査面積	300㎡																		
調査期間	5月24日～11月30日																		
調査公開	5月25日～11月29日(見学者:延532人)																		
現地説明会	11月6日(来場者:90人)																		
報告書作成	平成22年度発掘調査概要報告																		
専門分野	氏名及び所属・職名																		
古環境学																			
年代測定学																			
地質学																			

事業名	概要									
(青谷上寺地遺跡発掘調査事業 続き)	<p>○出土品保存処理 調査研究や活用を可能とし、後世に引継ぐための恒久的な保存処理を行った。 ・保存処理委託（木製品4点、網代1点、青銅鏡1点） ・直営保存処理（木製品約940点、骨角器約200点）</p> <p>イ 平成22年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 遺跡中心域南側における調査最終年度であることから、中心域南側における弥生時代後期後葉の集落像を解明するため、最大の成果が期待される調査区の設定を行いそれに見合う形で発掘調査面積、調査期間とも昨年度以上のものとした。</p> <table border="1" data-bbox="501 584 1412 701"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成21年度</th> <th>平成22年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>調査面積</td> <td>225㎡</td> <td>300㎡</td> </tr> <tr> <td>調査期間</td> <td>7月1日～11月17日</td> <td>5月24日～11月30日</td> </tr> </tbody> </table> <p>ウ 成果</p> <p>○発掘調査 ・遺跡中心域南側を区画する溝と木造建造物の延長部分を確認することができた。 ・弥生時代後期（約1900年前）に設けられた南側区画溝は、古墳時代初め頃（約1750年前）までの間に、大きく3段階の変遷を遂げていることが確認され、この溝が埋まった後、溝に代わる区画施設として木造建造物が設けられたことが確認された。 ・南側区画溝の変遷と木造建造物との関係が明らかとなり、中心域南側の集落様相を明らかにすることができた。 ・本州では初、全国でも9例目となる中国・前漢の時代に製作された青銅鏡である「星雲文鏡（せいうんもんきょう）」が出土し、青谷上寺地遺跡の日本海側における重要な交易拠点としての位置付けを、さらに高めることとなった。</p> <p>○古環境調査 ・平成20年度から取り組んできた成果を学術的な報告書にまとめるだけでなく、青谷上寺地遺跡を取り巻く弥生時代の青谷平野の景観をCGで再現することで、青谷上寺地遺跡のイメージをより具体的に体感していただけることとなる。</p> <p>○埋蔵環境調査 ・地下水の状況が良好な状態で保たれていることを確認した。</p> <p>○出土品保存処理 ・前年度実施分について、青谷調査室収蔵展示室で公開するだけでなく、他館での展示も行った。 ・次年度以降の調査研究や展示を始めとした活用に資することが可能となった。</p> <p>エ 課題</p> <p>○発掘調査 ・中心域南側で実施した平成21・22年度の発掘調査成果をまとめた報告書を、平成23年度に刊行する必要がある。 ・平成23年度から予定している中心域西側での発掘調査についても、整備や活用のため必要となる集落様相の更なる解明を目指して行う必要がある。</p> <p>○古環境調査 ・青谷上寺地遺跡に対する理解を深めていただくために、青谷平野の景観を再現したCGを効果的に活用していく必要がある。</p>		平成21年度	平成22年度	調査面積	225㎡	300㎡	調査期間	7月1日～11月17日	5月24日～11月30日
	平成21年度	平成22年度								
調査面積	225㎡	300㎡								
調査期間	7月1日～11月17日	5月24日～11月30日								

事業名	概要								
青谷上寺地遺跡出土品調査研究等事業 決算見込額 26,346千円 (財源内訳) 国庫支出金 6,945千円 一般財源 19,302千円 その他 99千円	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ○青谷上寺地遺跡の出土品が持つ豊富な情報を多くの方に知っていただく。 ○情報発信を通じて、出土品の活用と遺跡の持つ重要性や魅力をアピールする。 <p>(イ) 事業の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ○出土品の調査研究 <ul style="list-style-type: none"> 保存状態が良好な出土品の再整理と調査研究を行った。 <table border="1" data-bbox="485 501 1417 896"> <tr> <td data-bbox="485 501 619 618">金属器</td> <td data-bbox="619 501 1417 618">鉄製品を中心とした青谷上寺地遺跡で出土している金属器に関する調査研究成果を報告書に取りまとめた。成果を踏まえたデータベースの拡充を行った。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="485 618 619 698">木製品</td> <td data-bbox="619 618 1417 698">木製農工具と漁撈具に関する報告書作成に向けた比較研究等を実施した。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="485 698 619 860">骨角器</td> <td data-bbox="619 698 1417 860">昨年度刊行した「骨角器(1)」に引き続き、「骨角器(2)」として、新たに製作技術からみた青谷上寺地遺跡の位置付け等の調査研究成果を報告書に取りまとめた。成果を踏まえたデータベースの拡充を行った。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="485 860 619 896">土器・石器</td> <td data-bbox="619 860 1417 896">データベース公開に向け、基礎的研究などの諸準備に着手した。</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ○出土品のレプリカ作製 <ul style="list-style-type: none"> 保存処理後でも実物展示困難な脆弱遺物のレプリカを作製した。 ・骨角器20点(ヤス、銚頭、釣針など) ○青谷上寺地遺跡弥生講座(於:鳥取市青谷町総合支所多目的ホール) <ul style="list-style-type: none"> 青谷上寺地遺跡の最新の調査研究成果について、分かりやすく情報発信した。 ・土曜講座:6/26、8/7、11/6、12/11、2/5の土曜日 <ul style="list-style-type: none"> 講師:鳥取県埋蔵文化財センター職員 参加者:延167人 ・青谷上寺地遺跡ミニフォーラム:10月2日(土) <ul style="list-style-type: none"> 「自然への備えと挑戦 ~青谷上寺地遺跡の土木技術と現在~」 講師:工楽善通(大阪府狭山池博物館館長) 竹森達夫(鳥取県土整備部河川課長) 君嶋俊行(埋蔵文化財センター文化財主事) 参加者:113人 <p>イ 平成22年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <p>青谷上寺地遺跡ミニフォーラムの開催にあたり、外部講師による講演会だけで終らせるのではなく、外部講師と埋蔵文化財センター職員による対話や討議も行うことで、来場された方により分かりやすく情報を伝えるようにした。</p> <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ○出土品の調査研究 <ul style="list-style-type: none"> ・青谷上寺地遺跡で出土した鉄製品を網羅し、他地域との比較も行いながら製作技法等について明らかにすることができ、その成果を報告書にまとめた。この成果は、古代冶金史の研究に大きく寄与できるものとする。 ・昨年度末に公開を開始した木製農工具・漁撈具をはじめとした、現在公開中のデータベースに関して、開設当初から継続したアクセスがあり、概ね好評を得ていると考える。 	金属器	鉄製品を中心とした青谷上寺地遺跡で出土している金属器に関する調査研究成果を報告書に取りまとめた。成果を踏まえたデータベースの拡充を行った。	木製品	木製農工具と漁撈具に関する報告書作成に向けた比較研究等を実施した。	骨角器	昨年度刊行した「骨角器(1)」に引き続き、「骨角器(2)」として、新たに製作技術からみた青谷上寺地遺跡の位置付け等の調査研究成果を報告書に取りまとめた。成果を踏まえたデータベースの拡充を行った。	土器・石器	データベース公開に向け、基礎的研究などの諸準備に着手した。
金属器	鉄製品を中心とした青谷上寺地遺跡で出土している金属器に関する調査研究成果を報告書に取りまとめた。成果を踏まえたデータベースの拡充を行った。								
木製品	木製農工具と漁撈具に関する報告書作成に向けた比較研究等を実施した。								
骨角器	昨年度刊行した「骨角器(1)」に引き続き、「骨角器(2)」として、新たに製作技術からみた青谷上寺地遺跡の位置付け等の調査研究成果を報告書に取りまとめた。成果を踏まえたデータベースの拡充を行った。								
土器・石器	データベース公開に向け、基礎的研究などの諸準備に着手した。								

事業名	概要
<p>(青谷上寺地遺跡出土品調査研究等事業 続き)</p>	<p>○出土品のレプリカ作製 ・過年度作製分も含めて、今後の展示や貸出依頼により幅広く対応することが可能となり、多くの方々に見ていただける機会を増やすことができた。</p> <p>○青谷上寺地遺跡弥生講座 ・開始して3年目となり、地元青谷町のみならず町外からの参加者も毎回見受けられるなど、定着してきたものと考ええる。 ・青谷上寺地遺跡ミニフォーラムで、外部講師と埋蔵文化財センター職員による対話や討議も行い、その内容に現代でも通じるような事例を組み込んだことから、アンケートでも概ね好評を得ることができた。</p> <p><アンケートでの主な回答> ・大変興味深く聞いた。テーマ設定がよい。 ・丁寧に分かりやすく話して頂いたので興味深く聞いた。 ・古代の技術が現代にも受け継がれ重要なものであることが分かって良かった。 ・弥生人の水、砂、風等の対策の苦労がよくわかった。 ・講師の先生3人の背景、持ち味がうまくかみあっておもしろい鼎談になった。</p> <p>エ 課題 ○出土品の調査研究 ・出土資料の追加など、公開中のデータベースを拡充する。 ・膨大な量がある土器と石器に関して、公開等のスケジュールも含めたデータベースの在り方を検討する必要がある。 ・専門的な調査研究成果を、分かりやすく説明し理解を深めていただくための普及啓発資料を作成する。</p> <p>○青谷上寺地遺跡弥生講座 ・より地元 roots とともに、新たな参加者を得ていくためにも、土曜講座の内容を拡充しながら、その周知の方法にも工夫を加えることが必要となる。</p>
<p>鳥取県の考古学情報発信事業</p> <p>決算見込額 7,266千円</p> <p>(財源内訳) 国庫支出金 1,986千円 一般財源 5,262千円 その他 18千円</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 ○県民の方々に鳥取県の考古学に関する様々な情報を積極的に発信する。 ○埋蔵文化財センター等に保管されている出土品や調査記録などを積極的に活用し、児童・生徒をはじめとする県民の方々の郷土の歴史や地域の埋蔵文化財に対する認識を深める。</p> <p>(イ) 事業の実施状況 ○展示見学活用事業 ・「来て！見て！！さわって!!!とっとり発掘速報展」 東部展： 7月23日～ 7月25日、会場 ジャスコ鳥取北店 西部展： 9月24日～ 9月26日、会場 米子駅前サティ 中部展： 10月15日～10月17日、会場 パープルタウン 県民の方々に埋蔵文化財をより身近に感じていただくため、ショッピングセンターなどの公衆が集まる場所で考古学の展示会を開催した。 出土品の実物にタッチングする体験コーナーを引き続き開設した。 ・「新発見！とっとり・しまね発掘速報展」 1月15日～2月13日、会場 出雲弥生の森博物館 2月19日～3月13日、会場 鳥取県立図書館</p>

事業名	概要
<p>(鳥取県の考古学 情報発信事業 続き)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「埋蔵文化財センター常設展」の開催 ・埋蔵文化財センターでの見学・体験学習への対応 ・「埋蔵文化財センター古代祭り」の開催(8月21日、会場 当センター) <ul style="list-style-type: none"> 〔模擬発掘体験コーナー ペーパークラフトづくりコーナー ミニチュア盾づくりコーナー 夏休み自由研究コーナー ・出土資料等の整理・復元 ○「古代歴史への誘い」事業 <ul style="list-style-type: none"> ・出前講演の実施(文化財主事による鳥取県の考古学情報発信) (3月6日現在 県外7回、県内24回 延37人) ○「こども考古学教室」事業 <ul style="list-style-type: none"> ・「こども考古学教室—弥生の音色—」の実施 学校の要望を受けて小学校へ出向き、青谷上寺地遺跡出土楽器の複製品を用いて出前授業を行った。(9校で実施) ○市町村等への支援 市町村等が行う発掘調査、出前事業等への支援を行った。 ○普及資料刊行事業 <ul style="list-style-type: none"> ・リーフレット「とっとり考古学紀行」の刊行 ・図書「鳥取県の考古学第1巻」の刊行 ・普及パンフレット(4種)の刊行 ・遺跡地図の改訂 ・発掘調査資料のデジタルデータ化 ・普及図書の販売促進 案内チラシを作成し、当センターや各県民局に配架するとともに、展示会などで販売促進に努めた。 <p>イ 平成22年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 県民の方々に考古学や埋蔵文化財を身近に感じていただくため、夏休み期間中に当センターにおいて、新たに体験型イベント「埋蔵文化財センター古代祭り」を開催した。</p> <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「来て!見て!!さわって!!!とっとり発掘速報展」の開催 不特定多数の方々に、気軽に埋蔵文化財の展示を見てもらい、郷土の文化財への関心を喚起する機会を提供できた。出土品に触っていただくタッチングコーナーは延べ36時間(東・中・西部3会場×各3日間×各4時間/日)にわたって開設し、約980人の方に体験していただくことができ、好評を博した。 ○「新発見!とっとり・しまね発掘速報展」の開催 鳥取県及び島根県の最近の発掘調査成果を一度に見ていただける機会であり、島根会場は2,896名、鳥取会場では約430名と多くの見学者があり好評を博した。また、1月15日に出雲弥生の森博物館、2月19日に鳥取県立図書館において、それぞれ鳥取・島根両県における近年の発掘調査の動向を紹介する調査成果報告会を開催し、多くの方に聴講していただいた。 ○「埋蔵文化財センター古代祭り」の開催 県民の方々に考古学や埋蔵文化財を身近に感じてもらうため、模擬発掘体験

事業名	概要																								
(鳥取県の考古学 情報発信事業 続き)	<p>コーナーやペーパークラフトコーナーなどの体験型イベントを用意し、約100名の方々に体験していただくことができた。</p> <p>○鳥取県の考古学情報の発信「古代歴史への誘い」 出前講演では、多くの質問があるなど鳥取県の埋蔵文化財に対し関心を持っていただけた。</p> <p>エ 課題 ショッピングセンター等での巡回展示に引き続き積極的に取り組み、タッチングコーナー開設などの工夫を図りながら、埋蔵文化財が県民により身近な存在になるよう努める。</p>																								
埋蔵文化財専門職員 研修事業 決算見込額 136千円 (財源内訳) 一般財源 136千円	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 ○県内の埋蔵文化財担当者等を対象として、埋蔵文化財の発掘調査を迅速かつ適正に進めるための研修を行い、発掘調査の実施に必要な専門知識と技能の習得及びその向上を図る。</p> <p>(イ) 事業の実施状況 ・「遺跡調査検討過程」及び「遺物調査検討過程」では、県外から著名な研究者を招聘しての講演を実施し、最先端の考古学に触れる機会を提供した。</p> <table border="1" data-bbox="478 1019 1444 1355"> <thead> <tr> <th>研修名</th> <th>遺跡調査検討課程</th> <th>発掘技術検討課程</th> <th>遺物調査検討課程</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>テーマ</td> <td></td> <td>報告書作成における編集ソフトの活用について</td> <td>古代の須恵器</td> </tr> <tr> <td>会場</td> <td>鳥取県立図書館</td> <td>教育センター</td> <td>鳥取市青谷町総合支所</td> </tr> <tr> <td>開催日</td> <td>平成22年6月13日</td> <td>平成22年12月21日</td> <td>平成23年3月19日</td> </tr> <tr> <td>講師</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>59人</td> <td>17人</td> <td>39人</td> </tr> </tbody> </table> <p>イ 平成22年度の事業実施に当たり改善に取り組んだ点 「遺跡調査検討課程」において、調査事例の発表内容が単なる遺跡紹介とならないように、どのような調査手法を用いた結果、どのような成果が得られたのか、或いは得られなかったのかなど、今後の調査方法の参考となるように発表していただくようにした。</p> <p>ウ 成果 ○「遺跡調査検討課程」 調査方法の習得を行うとともに、調査内容の検討や問題点の共通認識が得られた。 ○「発掘技術検討課程」 報告書等の作成活用できる編集ソフト「インデザイン」の基礎的技術を習得することができた。</p> <p>エ 課題 より多くの埋蔵文化財担当職員が参加できるように、参加しやすい日程やカリキュラムとなるよう検討する。</p>	研修名	遺跡調査検討課程	発掘技術検討課程	遺物調査検討課程	テーマ		報告書作成における編集ソフトの活用について	古代の須恵器	会場	鳥取県立図書館	教育センター	鳥取市青谷町総合支所	開催日	平成22年6月13日	平成22年12月21日	平成23年3月19日	講師				参加者数	59人	17人	39人
研修名	遺跡調査検討課程	発掘技術検討課程	遺物調査検討課程																						
テーマ		報告書作成における編集ソフトの活用について	古代の須恵器																						
会場	鳥取県立図書館	教育センター	鳥取市青谷町総合支所																						
開催日	平成22年6月13日	平成22年12月21日	平成23年3月19日																						
講師																									
参加者数	59人	17人	39人																						

事業名	概要
<p>受託発掘調査事業</p> <p>決算見込額 430,106千円</p> <p>(財源内訳)</p> <p>その他 (国委託費) 429,613千円</p> <p>(その他) 493千円</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 一般国道9号(山陰道)の改築に伴い、遺跡の記録保存を行う。</p> <p>(イ) 事業の実施状況 国土交通省から委託を受けて発掘調査(発掘調査総面積37,544.50㎡)を実施し、適切に調査記録を作成した。</p> <p>○一般国道9号(中山名和道路)の改築に伴う発掘調査 ・発掘調査: 8遺跡(下市築地ノ峯東通第2遺跡ほか) ・報告書の刊行: 1冊(樋口西野末遺跡・下市天神ノ峯遺跡)</p> <p>○一般国道9号(名和淀江道路)の改築に伴う発掘調査 ・発掘調査: 4遺跡(小竹上鷹ノ尾遺跡ほか) ・報告書の刊行: 4冊(豊成上神原遺跡・豊成上金井谷峰遺跡ほか)</p> <p>○一般国道9号(鳥取西道路)に伴う発掘調査 ・報告書の刊行: 1冊(本高弓ノ木遺跡)</p> <p>イ 平成22年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 文化財主事及び発掘作業員等の配置を昨年度よりさらに適切かつ弾力的に行い、より効率のよい発掘調査を実施した。 文化財主事の配置不足を派遣発掘調査員を導入することにより対応した。 窯跡・製鉄炉などの複雑な遺構測量に最新の測量技術である「3次元レーザー測量」を導入して、現地測量期間を大幅に短縮することができた。 工事との進捗状況を調整しながら、国交省の追加調査の依頼にも適切に応じた。</p> <p>ウ 成果 上記改善点に取り組んだことにより、当初計画(34,653㎡)より2,891.5㎡増の発掘調査を実施し、一般国道9号改築工事の進捗を図ることができた。</p> <p>エ 課題 今後、名和淀江道路・中山名和道路開通に必要な発掘調査面積が60,000㎡残っている。平成24年度での現地調査終了を国交省に求められており、適切な調査計画のもと、スムーズに発掘調査を完了させ、両道路の早期開通を図る必要がある。</p>

7 収入証紙取扱額調べ

該当なし

8 収入事務処理状況調べ

(1) 分担金及び負担金

該当なし

(2) 使用料

(平成23年2月28日現在)
(単位：円)

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
	節	細節							
行政財産使用料	行政財産使用料	(電柱用地使用料)	2	18,000	18,000	0	0	鳥取県公有財産 事務取扱規則、 鳥取県行政財産 使用料条例	
		(土地・建物使用料)	4	3,575,159	3,575,159	0	0		
		(駐車場使用料)	419	1,046,000	1,042,000	0	4,000		
		(その他)							
		計(節)	425	4,639,159	4,635,159	0	4,000		
		目計	425	4,639,159	4,635,159	0	4,000		
		合計	425	4,639,159	4,635,159	0	4,000		

(3) 手数料

該当なし

(4) 財産収入

該当なし

(5) 諸収入

(平成23年2月28日現在)
(単位：円)

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令等	備考
	節	細節							
発掘調査受託 事業収入	発掘調査受託 事業収入		2	223,213,000	223,213,000	0	0	発掘調査委託契約書	山陰道建設に係る国 交省からの受託分
		目計	2	223,213,000	223,213,000	0	0		
雑入	雑入		1	1,914	1,914	0	0	行政財産許可証	行政財産使用に係る 光熱水費等負担分
			62	382,240	382,240	0	0	県刊行物作成要領	書籍販売代金
		目計	63	384,154	384,154	0	0		
合計	合計		65	223,597,154	223,597,154	0	0		

(6) 現金の取扱状況
ア 現金取扱状況

(平成23年2月28日現在)
(単位：円)

収入科目(節)	収入済額	備考
雑入	382,240	書籍販売代金
合計	382,240	

イ つり銭の状況

(平成23年2月28日現在)

つり銭の有無	有	つり銭の額(円)
		3,000

9 収入未済額調べ

該当なし(使用料4,000円平成23年3月7日収納済)

10 未収金回収促進のための取り組み状況調べ

該当なし

11 不納欠損額調べ

該当なし

12 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ

(1) 負担金

(平成23年2月28日現在)
(単位:円)

予算科目(目)	予算令達額	負担金の名称	支出先	負担率	支出年月日	支出金額(円)	支出の根拠法令等 (規約、要領等を含む)	備考
埋蔵文化財センター費	円 3,180,000	鳥取市青谷町総合支所施設維持管理負担金	鳥取市	17.6%外	22.7.21外	1,451,786	鳥取市青谷町総合支所経費の負担割合等に関する協定	
支出金額が10万円未満のもの						63,050		
目計						1,514,836		
合計						1,514,836		

(2) 補助金

該当なし

(3) 交付金

該当なし

(4)委託料

(平成23年2月28日)(単位:円)

予算科目 (目)	国補 単 の別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約			入札等 年月日 (契約保証金納 付等年月日)	完了 年月日	支出の状況			備考
				予定価格	(契約年月日) 契約額	契約期間			支出 区分	支出 年月日	金額	
文化財保護費	単県	青谷上寺地遺跡地下水位 観測業務	㈱ウエスコ鳥取支 社		(H22.4.28) 840,000	契約期間 H22.4.28 ~ H23.3.31	契約形態 H22.4.26 (免除)					
文化財保護費	国補	青谷上寺地遺跡第12次調 査前測量業務	アサヒコンサルタ ント㈱	213,150	(H22.5.6) 105,000	契約期間 H22.5.6 ~ H22.6.30	随	H22.6.14	精	105,000		
文化財保護費	国補	青谷上寺地遺跡出土金属 製品保存処理業務	㈱吉田生物研究 所	315,000	(H22.7.14) 94,500	契約期間 H22.7.14 ~ H23.2.25	随	H23.1.27	精	94,500		
文化財保護費	国補	青谷上寺地遺跡出土木製 品保存処理業務	㈱葵文化	1,575,000	(H22.7.20) 1,029,000	契約期間 H22.7.20 ~ H23.2.25	指	H23.2.25				①
文化財保護費	国補	青谷上寺地遺跡出土木製 品保存処理業務(第2回)	㈱葵文化	850,500	(H22.9.21) 808,500	契約期間 H22.9.21 ~ H23.3.18	随	H22.9.17				
文化財保護費	単県	青谷上寺地遺跡景観復元 CG作成業務	㈱相互技研	3,969,000	(H22.11.24) 3,780,000	契約期間 H22.11.24 ~ H23.3.18	随	H22.11.5 (22.11.29)				④ 指名型プロ ポーザル
文化財保護費	国補	青谷上寺地遺跡出土試料 自然科学分析業務	㈱古環境研究所	1,483,395	(H23.1.13) 1,353,450	契約期間 H23.1.13 ~ H23.3.25	指	H23.1.13				①
文化財保護費	単県	青谷上寺地遺跡出土試料 を用いた年代測定と考古 編年との対比に関する受 託研究	国立大学法人東 京大学	897,000	(H23.1.12) 897,000	契約期間 H23.1.12 ~ H23.2.28	随		前	897,000		

(平成23年2月28日)(単位:円)

予算科目 (目)	国庫 単 別の別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約		入札等 年月日 (契約保証金納 付等年月日)	完了 年月日	支出の状況			備考		
				予定価格	変更契約(最終) (契約年月日) 契約額			契約期間	契約形態	支出 区分		支出 年月日	金額
文化財保護費	単県	青谷上寺地遺跡出土鉄器 のX線CTスキャン装置によ る3Dモデル作成業務	㈱島津テクノリ サー子	504,000	(H22.9.10) 504,000	H22.9.10 (免除)	H22.9.30	精	H22.10.8	504,000			
文化財保護費	単県	青谷上寺地遺跡出土遺物 レプリカ作成業務	㈱丹青社	3,205,125	(H22.7.15) 1,564,500	H22.7.14 (免除)	H22.11.29	精	H22.12.8	1,564,500	①		
文化財保護費	単県	青谷上寺地遺跡出土遺物 レプリカ作成業務(第2回)	㈱丹青社	1,649,025	(H22.8.10) 1,029,000	H22.8.9 (免除)	H22.11.29	精	H22.12.8	1,029,000	①		
文化財保護費	単県	真空凍結乾燥機保守点検 業務	三恒商事㈱	462,000	(H23.2.22) 383,250	H23.2.22 (免除)							
埋蔵文化財 センター費	国庫	写真資料デジタルデータ化 業務	㈱高橋カメラ店	438,522	(H22.5.14) 366,093	H22.4.30 (免除)	H22.6.30	精	H22.7.8	366,093			
埋蔵文化財 センター費	単県	『鳥取県の考古学第1巻 旧石器・縄文時代』版下子 ザイン制作業務	勝美印刷㈱鳥取 支店	505,050	(H22.11.18) 380,730	H22.11.17 (免除)	H23.1.27	精	H22.2.10	380,730			
埋蔵文化財 センター費	単県	『とっとり考古学紀行』版下 デザイン作成業務	勝美印刷㈱鳥取 支店	284,000	(H22.4.28) 148,050	H22.4.23 (免除)	H22.6.9外	精	H22.6.15 外	148,050			
目計										4,194,000			

(平成23年2月28日)(単位:円)

予算科目 (目)	国補 単費 の別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約			入札等 年月日 (契約保証金納 付等年月日)	完了 年月日 履行検査 年月日	支出の状況			備考
				予定価格	(契約年月日) 契約額				支分区	支出 年月日	金額	
					変更契約(最終)							
埋蔵文化財 センター費	単費	鳥取県埋蔵文化財セン ター清掃業務	山陰リネンサプ ライ(株)	1,591,800	(H20.3.5) 1,455,300	(H20.3.5) 1,455,300	H20.3.3 (免除)	H22.4.30外 H22.4.30外	精	H22.5.31 外	404,250	平成20~22 年度債務負担 行為設定済
埋蔵文化財 センター費	単費	鳥取県埋蔵文化財セン ター警備業務	山陰警備保障(株)	567,000	(H20.3.12) 283,500	(H20.3.12) 283,500	H20.3.3 (免除)	H22.4.30外 H22.4.30外	精	H22.5.31 外	78,750	平成20~22 年度債務負担 行為設定済
埋蔵文化財 センター費	単費	鳥取県埋蔵文化財セン ター秋里分室警備業務	山陰警備保障(株)	1,530,900	(H21.3.16) 427,140	(H21.3.16) 427,140	H21.3.9 (免除)	H22.4.30外 H22.4.30外	精	H22.5.31 外	118,650	平成21~23 年度債務負担 行為設定済
埋蔵文化財 センター費	単費	鳥取県埋蔵文化財セン ター積善分館警備業務	セコム(株)	378,000	(H21.3.19) 264,600	(H21.3.19) 264,600	H21.3.10 (免除)	H22.4.30外 H22.4.30外	精	H22.5.31 外	73,500	平成21~23 年度債務負担 行為設定済
埋蔵文化財 センター費	単費	鳥取県埋蔵文化財セン ター旧美和分校警備業務	山陰警備保障(株)	567,000	(H21.3.18) 260,820	(H21.3.18) 260,820	H21.3.10 (免除)	H22.4.30外 H22.4.30外	精	H22.5.31 外	72,450	平成21~23 年度債務負担 行為設定済
埋蔵文化財 センター費	単費	鳥取県埋蔵文化財セン ター自家用電気工作物保 安管理業務	(株)NTTフアンリテイ ーズ中国	1,217,475	(H21.3.16) 926,100	(H21.3.16) 926,100	H21.3.9 (免除)	H22.4.30外 H22.4.30外	前	H22.5.28	308,700	平成21~23 年度債務負担 行為設定済
埋蔵文化財 センター費	単費	鳥取県埋蔵文化財セン ター敷地内除草及び剪定 業務	(有)徳田造園	1,283,331	(H22.5.17) 1,249,500	(H22.5.17) 1,249,500	H22.5.14 (免除)	H22.5.29外 H22.5.31外	精	H22.10.29	1,249,500	③
埋蔵文化財 センター費	国委 託費	下市築地ノ峰東通第3遺跡 調査前地形測量等業務	(株)エイト日本技 術開発 鳥取支店	2,547,300	(H22.4.1) 1,333,500	(H22.4.1) 1,333,500	H22.3.25 (免除)	H22.5.21 H22.5.21	精	H22.6.7	1,333,500	⑤
埋蔵文化財 センター費	国委 託費	下市築地ノ峯第2遺跡等調 査前航空写真撮影業務	(株)エイトテック 鳥取支店	842,000	(H22.4.1) 787,500	(H22.4.1) 787,500	H22.3.25 (免除)	H22.4.13 H22.4.13	精	H22.4.23	787,500	

(平成23年2月28日)(単位:円)

予算科目 (目)	国補 単果 の別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約		入札等 年月日 (契約保証金納 付等年月日)	完了 年月日	支出の状況			備考		
				予定価格	変更契約(最終) (契約年月日) 契約額			契約期間	契約形態	支出 区分		支出 年月日	金額
埋蔵文化財 センター費	国委 託費	下市築地ノ峯東通第2遺跡 調査前地形測量等業務	(株)広洋コンサル タント	3,210,900	(H22.4.1) 2,940,000 ()	H22.4.1 ~ H22.5.21	H22.3.25 (免除) 指	H22.5.21 H22.5.21	精	H22.6.3	2,940,000	⑤	
埋蔵文化財 センター費	国委 託費	殿河内定屋ノ前遺跡調査 前地形測量等業務	構コンサルタント (株)	3,682,350	(H22.4.1) 3,150,000 ()	H22.4.1 ~ H22.5.21	H22.3.25 (免除) 指	H22.5.21 H22.5.21	精	H22.6.7	3,150,000	⑤	
埋蔵文化財 センター費	国委 託費	小竹上鷹ノ尾遺跡等方眼 測量業務	鷹技術コンサルタ ント(株)	930,558	(H22.4.30) 557,500 ()	H22.4.30 ~ H22.6.17	H22.4.30 (免除) 随	H22.6.17 H22.6.17	精	H22.6.29	577,500		
埋蔵文化財 センター費	国委 託費	下市築地ノ峯東通第2遺跡 (範囲拡張部)調査前地形 測量等業務	シンワ技研コンサ ルタント(株)	2,050,336	(H22.5.24) 1,995,000 ()	H22.5.24 ~ H22.6.25	H22.5.21 (免除) 指	H22.6.23 H22.6.23	精	H22.7.8	1,995,000	⑤	
埋蔵文化財 センター費	国委 託費	小竹上鷹ノ尾遺跡2・3区 調査後航空写真撮影業務	(株)エイトック 鳥取支店	652,050	(H22.6.2) 619,500 ()	H22.6.2 ~ H22.6.25	H22.5.31 (免除) 随	H22.6.16 H22.6.16	精	H22.6.29	619,500		
埋蔵文化財 センター費	国委 託費	小竹上鷹ノ尾遺跡2~4区 調査後地形測量業務	(株)大地企画	1,562,706	(H22.6.1) 1,470,000 ()	H22.6.1 ~ H22.7.30	H22.5.31 (免除) 指	H22.7.15 H22.7.15	精	H22.8.3	1,470,000	⑤	
埋蔵文化財 センター費	国委 託費	小竹上鷹ノ尾遺跡4区西側 等方眼測量業務	(株)エイト日本技 術開発 鳥取支店	483,794	(H22.7.14) 336,000 ()	H22.7.14 ~ H22.8.20	H22.7.13 (免除) 随	H22.8.11 H22.8.11	精	H22.8.24	336,000		
埋蔵文化財 センター費	国委 託費	松河原上奥田第2遺跡1区 調査後地形測量業務	(有)江府技研コン サルタント	1,276,443	(H22.7.14) 1,102,500 ()	H22.7.14 ~ H22.9.17	H22.7.13 (免除) 指	H22.9.13 H22.9.13	精	H22.9.27	1,102,500	⑤	
埋蔵文化財 センター費	国委 託費	殿河内定屋ノ前遺跡地内 草刈業務	(有)サンゲリー	848,473	(H22.7.20) 233,142 ()	H22.7.20 ~ H22.9.30	H22.7.15 (免除) 随	H22.7.28外 H22.7.28外	精	H22.8.20 外	233,142		

(平成23年2月28日)(単位:円)

予算科目 (目)	国 補 単 費 の 別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約			入札等 年月日 (契約保証金納 付年月日)	完了 年月日 履行検査 年月日	支出の状況			備 考
				予定価格	(契約年月日) 契約期間				支出 区分	支出 年月日	金額	
					変更契約(最終)	契約期間						
埋蔵文化財 センター費	国委 託費	中山名和道路管内遺跡地 内草刈業務委託	(株)ティール・エム・ エス		(H22.7.26) 420,514	H22.7.26 ~ H22.8.13	H22.7.23 (免除)	H22.7.30外	精	H22.9.6	420,514	
					()		随	H22.7.30外				
埋蔵文化財 センター費	国委 託費	下市前築地遺跡調査前航 空写真撮影業務	(株)開発コンサル タント		(H22.8.10) 441,000	H22.8.10 ~ H22.9.4	H22.8.9 (免除)	H22.9.1	精	H22.9.13	441,000	
					()		随	H22.9.1				
埋蔵文化財 センター費	国委 託費	下市前築地遺跡調査前地 形測量業務	サイトウコンサル タント(株)		(H22.8.10) 2,100,000	H22.8.10 ~ H22.10.8	H22.8.9 (免除)	H22.10.8	精	H22.10.22	2,100,000	⑤
					()		指	H22.10.8				
埋蔵文化財 センター費	国委 託費	下市築地ノ峯東通第3遺跡 調査後航空写真撮影業務	(株)エイテック 鳥取支店		(H22.8.12) 441,000	H22.8.12 ~ H22.8.29	H22.8.9 (免除)	H22.8.27	精	H22.9.9	441,000	
					()		随	H22.8.27				
埋蔵文化財 センター費	国委 託費	下市築地ノ峯東通第3遺跡 調査後地形測量業務	ダイニテック(株)		(H22.8.24) 1,260,000	H22.8.24 ~ H22.10.29	H22.8.23 (免除)	H22.10.26	精	H22.11.10	1,260,000	⑤
					()		指	H22.10.26				
埋蔵文化財 センター費	国委 託費	豊成叶林遺跡方眼測量業 務	権コンサルタント (株)		(H22.8.26) 661,500	H22.8.26 ~ H22.9.30	H22.8.23 (免除)	H22.9.27	精	H22.10.5	661,500	
					()		随	H22.9.27				
埋蔵文化財 センター費	国委 託費	松河原上奥田第2遺跡(2 区)調査後地形測量業務	アサヒコンサルタ ント(株)		(H22.8.27) 1,417,500	H22.8.27 ~ H22.10.22	H22.8.26 (免除)	H22.10.21	精	H22.11.4	1,417,500	⑤
					()		指	H22.10.21				
埋蔵文化財 センター費	国委 託費	小竹上鷹ノ尾遺跡4区他調 査後航空写真撮影業務	(株)エイテック 鳥取支店		(H22.9.3) 420,000	H22.9.3 ~ H22.9.19	H22.9.2 (免除)	H22.9.10	精	H22.9.28	420,000	
					()		随	H22.9.10				
埋蔵文化財 センター費	国委 託費	小竹上鷹ノ尾遺跡4区他調 査後地形測量業務	(株)アスコ		(H22.9.3) 1,365,000	H22.9.3 ~ H22.10.29	H22.9.1 (免除)	H22.10.26	精	H22.11.10	1,365,000	⑤
					()		指	H22.10.26				

(平成23年2月28日)(単位:円)

予算科目 (目)	国単 の別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約			入札等 年月日 (契約保証金納 付等年月日)	完了 年月日	支出の状況			備考
				予定価格	契約年月日 契約額	契約期間			支出 区分	支出 年月日	金額	
埋蔵文化財 センター費	国委 託費	殿河内定屋/前遺跡調査 後地形測量業務	(株)開発コンサル タント	2,039,028	(H22.9.3) 1,470,000	H22.9.3 ~ H22.10.21	H22.9.1 (免除)	H22.10.21	精	H22.11.4	1,470,000	⑤
埋蔵文化財 センター費	国委 託費	殿河内定屋/前遺跡調査 後航空写真撮影業務	(株)開発コンサル タント	441,000	(H22.9.6) 430,500	H22.9.6 ~ H22.9.26	H22.9.6 (免除)	H22.9.22	精	H22.10.6	430,500	
埋蔵文化財 センター費	国委 託費	下市築地遺跡第1回調 査後地形測量業務	(株)ジーアイシー	1,535,877	(H22.10.22) 399,000	H22.10.22 ~ H22.11.29	H22.10.20 (免除)	H22.11.29	精	H22.12.8	399,000	⑤
埋蔵文化財 センター費	国委 託費	下市築地/峯東通第2遺跡 第1回調査後地形測量 業務	(株)ウエスコ 取支社	1,592,001	(H22.10.22) 1,575,000	H22.10.22 ~ H22.11.26	H22.10.21 (免除)	H22.11.26	精	H22.12.7	1,575,000	⑤
埋蔵文化財 センター費	国委 託費	小竹上鷹/尾遺跡年代測 定業務	(株)パレオ・ラボ	410,970	(H22.10.22) 346,080	H22.10.22 ~ H22.11.26	H22.10.21 (免除)	H22.11.26	精	H22.12.7	346,080	
埋蔵文化財 センター費	国委 託費	下市築地/峯東通第2遺跡 調査後航空写真撮影業務	(株)エイテック 鳥取支店	672,000	(H22.10.27) 630,000	H22.10.27 ~ H22.11.18	H22.10.26 (免除)	H22.11.12	精	H22.12.1	630,000	
埋蔵文化財 センター費	国委 託費	下市築地/峯東通第2遺跡 3次元測量業務	アサヒコンサルタ ント(株)	2,641,800	(H22.10.29) 2,310,000	H22.10.29 ~ H22.12.22	H22.10.28 (免除)	H22.12.22	精	H23.1.25	2,310,000	③
埋蔵文化財 センター費	国委 託費	下市築地/峯東通第2遺跡 残留磁化測定による年代 推定業務	(株)パレオ・ラボ	248,692	(H22.11.9) 248,692	H22.11.9 ~ H22.12.24	H22.11.8 (免除)	H22.12.24	精	H22.1.25	248,692	
埋蔵文化財 センター費	国委 託費	殿河内定屋/前遺跡調査 後航空写真撮影業務(2回 目)	(株)開発コンサル タント	661,500	(H22.11.16) 441,000 (H22.12.8) 441,000	H22.12.6 ~ H22.12.19 H22.12.6 H22.12.26	H22.11.15 (免除)	H22.12.22	精	H23.1.24	441,000	

(平成23年2月28日)(単位:円)

予算科目 (目)	国補 単 別の別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約			入札等 年月日 (契約保証金納 付等年月日)	完了 年月日	支出の状況			備考	
				予定価格	変更契約(最終) (契約年月日) 契約額	契約期間			契約形態	支出 区分	支出 年月日		金額
埋蔵文化財 センター費	国委託費	殿河内定屋ノ前遺跡調査 後地形測量等業務(2回 目)	(株)ワーカーパス	2,038,303	(H22.11.22) 1,942,500	H22.12.6 ~ H23.1.31	H22.11.17 (免除)	H23.1.31	精	H23.2.10	1,942,500	⑤	
埋蔵文化財 センター費	国委託費	下市前築地遺跡調査後航 空写真撮影業務	アサヒコンサルタ ント(株)	504,000	(H22.12.1) 420,000	H22.12.1 ~ H22.12.26	H22.11.30 (免除)	H22.12.15	精	H23.2.10	420,000		
埋蔵文化財 センター費	国委託費	下市前築地遺跡第2回調 査後地形測量業務	西谷技術コンサル タント(株)	1,582,123	(H22.12.1) 1,417,500	H22.12.1 ~ H23.1.17	H22.11.30 (免除)	H23.1.14	精	H23.1.25	1,417,500	⑤	
埋蔵文化財 センター費	国委託費	下市築地ノ峯東通第2遺跡 第2回調査後地形測量業 務	サンイン技術コン サルタント(株)	1,999,355	(H22.12.6) 1,470,000	H22.12.13 ~ H23.1.31	H22.12.3 (免除)	H23.1.25	精	H23.2.3	1,470,000	⑤	
埋蔵文化財 センター費	国委託費	下市前築地遺跡及び松河 原上奥田第2遺跡年代測 定業務	(株)パレオ・ラボ	378,525	(H23.1.14) 346,080	H23.1.14 ~ H23.3.18	H23.1.12 (免除)	-					
埋蔵文化財 センター費	国委託費	殿河内定屋ノ前遺跡石器 等石材産地同定業務	(有)遺物材料研 究所	405,562	(H23.1.14) 279,825	H23.1.14 ~ H23.3.14	H23.1.12 (免除)	-					
埋蔵文化財 センター費	国委託費	殿河内定屋ノ前遺跡及び 下市築地ノ峯東通第3遺跡 出土試料自然科学分析業 務	パブリ・サーヴエイ ブル(株)	1,405,950	(H23.1.18) 1,390,000	H23.1.18 ~ H23.3.18	H23.1.13 (免除)	-				⑤	
埋蔵文化財 センター費	国委託費	発掘調査員派遣業務委託 料(名和淀江1名)	(株)アート	5,160	(H22.4.15) 4,450	H22.4.26 ~ H23.3.31	H22.4.13 (免除)	-	精	H22.5.27 他	6,518,131	単価契約 ④	
埋蔵文化財 センター費	国委託費	発掘調査員派遣業務委託 料(名和淀江1名)	(株)アート	4,450	(H22.5.25) 4,450	H22.6.1 ~ H23.3.31	H22.5.21 (免除)	-	精	H22.7.15 他	5,793,895	単価契約 ④	

(平成23年2月28日)(単位:円)

予算科目 (目)	国補 単 の別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約			入札等 年月日 (契約保証金納 付等年月日)	完了 年月日	支出の状況			備考	
				予定価格	契約年月日 額	契約期間			契約形態	支出 区分	支出 年月日		金額
埋蔵文化財 センター費	国委 託費	発掘調査員派遣業務委託 料(中山名和2名)	(株)トーフエンジ ニアリング	5,160	(H22.4.15) 4,500	H22.4.26 ~ H23.3.31	H22.4.13 (免除)	-	精	H22.5.27 他	13,329,220	単価契約 ④	
予定価格が20万 円未満のもの											1,405,086		
目計											66,418,433		
合計											70,612,433		

13 工事請負費調べ

(平成23年2月28日現在)
(単位:円)

予算科目 (目)	国補 単 の別	工事名	当初契約			請負人	支出状況			実地完成 年月日	変更 (解除) の理由 ・内容	備考
			(起工年月日) 設計額	(契約年月日) 契約額	工期		支出 年月日	金額				
									(変更年月日) 設計額			
教育財産管理費	単県	埋蔵文化財セン ター洗浄室流し他 改修工事	(H23.1.31) 1,707,300	(H23.2.8) 1,260,000	H23.2.8 ~ H23.3.25	(株)大佐古組						
目計								0				
合計								0				

14 財産に関する調べ

(1) 公有財産

ア 土地

(平成23年2月28日現在)

行政 普通財産 の区分	機関名又は 施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況								差引		備考		
			面積 (㎡)	価額 (円)	増減別	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登 年 月 日	面積 (㎡)	価額 (円)					
行政財産	埋蔵文化財センター	鳥取市国府町 宮下1260 番地	5,720.49	—	増加	H							5,720.49	—			
					減少	H											
	埋蔵文化財センター 秋里分室	鳥取市秋里 390番地	5,722.00	—	増加	H								5,722.00	—		
					減少	H											
埋蔵文化財センター 美和調査事務所	鳥取市源太 12番地	鳥取市源太 12番地	1,340.00	—	増加	H								1,340.00	—		鳥取湖陵高等 学校旧美 和分校
					減少	H											
埋蔵文化財センター 積善分館	鳥取市国府町 宮下1262 番地	鳥取市国府町 宮下1262 番地	12,854.14	—	増加	H								9,407.14	—		旧積善学園 グラウンドを 教育環境課へ
					減少	H22, 9, 13	3,447.00			所管換							
合計			25,636.63					3,447.00					22,189.63				

イ 建物

(平成23年2月28日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						差引		備考
			面積(m ²)	価額(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	登記年月日	面積(m ²)	価額(円)	
	埋蔵文化財センター	鳥取市国府町宮下1260番地	1,419.26	—	増加	H				H	1,419.26	—	
					減少	H				H			
	埋蔵文化財センター秋里分室	鳥取市秋里390番地	1,895.00	—	増加	H				H	1,895.00	—	
					減少	H				H			
行政財産	埋蔵文化財センター青谷調査室	鳥取市青谷町青谷667番地	39.83	—	増加	H				H	39.83	—	
					減少	H				H			
	埋蔵文化財センター美和調査事務所	鳥取市源太12番地	1,273.00	—	増加	H				H	1,273.00	—	鳥取湖陵高等学校旧美和分校
					減少	H				H			
埋蔵文化財センター積善分館	鳥取市国府町宮下1262番地	2,099.19	—	増加	H				H	2,099.19	—	旧積善学園	
				減少	H				H				
合計			6,726.28								6,726.28		

ウ 山林

該当なし

エ 動 産（船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機）

該当なし

オ 物 権

該当なし

カ 無体財産権（特許権、著作権、商標権、実用新案権等）

該当なし

キ 有価証券

該当なし

(2) 金券類の受払状況

ア 金券の受払状況

(平成23年2月28日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		差 引	備 考
		購 入 額	使 用 額		
郵便切手類及び郵便はがき	円 94,631	円 477,489	円 499,020	円 73,100	
収入印紙	0	0	0	0	
収入証紙	0	0	0	0	
タクシークーポン券	0	0	0	0	
鉄道バスプリペイドカード	0	0	0	0	
合 計	94,631	477,489	499,020	73,100	

イ タクシーチケットの受払状況

(平成23年2月28日現在)

前年度末未使用枚数	本 年 度 中		差引未使用枚数
	購 入 枚 数	使用枚数及び金額	
27枚	0枚	0枚	27枚
		0円	

(3) 債 権

(平成23年2月28日現在)

債権の名称	前年度末		本 年 度 中				差 引		備 考
	金 額	件数	増		減		金 額	件数	
			金 額	件数	金 額	件数			
行政財産使用料	円 25,500	3	円 6,000	1	円 16,500	1	円 15,000	3	
合 計	25,500	3	6,000	1	16,500	1	15,000	3	

15 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地

(平成23年2月28日現在)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先		備考
							単価	本年度の貸付(使用)料(現在高)	住氏	所名	
行政財産	電力供給事業	鳥取市国府町宮下1260番地	電柱4本 支柱2本 支線2本	H18. 2. 21	H13. 3. 19	H18. 4. 1 ~ H23. 3. 31	弁償・年額 12,000	12,000	鳥取市新品治1番地6 中国電力(株)鳥取営業所長		
	電力供給事業	鳥取市秋里390番地	支線1本	H22. 2. 16	H17. 3. 14	H22. 4. 1 ~ H27. 3. 31	弁償・年額 1,500	1,500	鳥取市新品治1番地6 中国電力(株)鳥取営業所長		
	電力供給事業	鳥取市国府町宮下1262番地	電柱1本 支線1本	H20. 4. 1	H20. 4. 1	H20. 4. 1 ~ H25. 3. 31	弁償・年額 3,000	3,000	鳥取市新品治1番地6 中国電力(株)鳥取営業所長		
	電気通信線設置	鳥取市国府町宮下1262番地	本柱1本	H20. 4. 1	H20. 4. 1	H20. 4. 1 ~ H25. 3. 31	弁償・年額 1,500	1,500	鳥取市湯所町2-258 西日本電信電話(株)鳥取支店長		
	防災無線野外拡声子局	鳥取市源太字廿日割90番地	15m柱1本	H20. 4. 25	H20. 4. 25	H20. 4. 25 ~ H25. 3. 31	月額・年額 0	0	鳥取市尚徳町116番地 鳥取市長		
	ケーブルテレビ設置	鳥取市国府町宮下1260番地	垂鉛メッキ鋼管柱1本	H22. 2. 2	H17. 12. 27	H22. 4. 1 ~ H23. 3. 31	月額・年額 0	0	鳥取市尚徳町116番地 鳥取市長		
	駐車区画	鳥取市源太12番地	25㎡	H22. 6. 1	H22. 6. 1	H22. 6. 1 ~ H22. 7. 31	弁償・年額 1,775	1,775	鳥取市源太12番地 (財)鳥取県教育文化財団理事長		
	駐車区画	鳥取市源太12番地	25㎡	H22. 5. 1	H21. 4. 30	H22. 5. 1 ~ H22. 12. 31	弁償・年額 7,132	7,132	鳥取市源太12番地 (財)鳥取県教育文化財団理事長		
	駐車区画、濾過装置及び貯蔵水槽置場	鳥取市源太12番地	189.9㎡	H22. 3. 25	H22. 3. 25	H22. 4. 1 ~ H23. 3. 31	弁償・年額 80,757	80,757	鳥取市源太12番地 (財)鳥取県教育文化財団理事長		
	水槽置場	鳥取市源太12番地	14㎡	H22. 6. 25	H22. 6. 25	H22. 6. 28 ~ H23. 3. 31	弁償・年額 4,515	4,515	鳥取市源太12番地 (財)鳥取県教育文化財団理事長		
合計							112,179				

イ 建物

(平成23年2月28日現在)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先		備考
							単価	本年度の貸付(使用)料(現在高)	住氏名	所名	
行政財産	ろうあ団体活動拠点	鳥取市国府町宮下1262番地	40.00㎡	H22.2.25	H21.4.1	H22.4.1 ~ H23.3.31	月額・年額 0	0	鳥取市国府町21(県民ふれあい会館内) 鳥取県ろうあ団体連合会長		
	事務室・倉庫使用	鳥取市源太12番地	308.6㎡	H22.3.25	H21.3.31	H22.4.1 ~ H23.3.31	月額・年額 3,287,760	3,287,760	鳥取市源太12番地 (財)鳥取県教育文化財団理事長		
	写場使用	鳥取市源太12番地	48㎡	H22.5.7	H22.5.7	H22.5.10 ~ H22.6.9	月額・年額 13,760	13,760	鳥取市源太12番地 (財)鳥取県教育文化財団理事長		
	倉庫使用	鳥取市源太12番地	29.55㎡	H22.9.16	H22.9.16	H22.9.16 ~ H23.3.31	月額・年額 55,900	55,900	鳥取市源太12番地 (財)鳥取県教育文化財団理事長		
	図書室使用	鳥取市源太12番地	53.6㎡	H22.12.16	H22.12.16	H23.1.4 ~ H23.3.31	月額・年額 123,560	123,560	鳥取市源太12番地 (財)鳥取県教育文化財団理事長		
合計								3,480,980			

(2) 物品

該当なし

16 借受不動産明細調べ

該当なし

17 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ

(1) 職員住宅

該当なし

(2) 職員駐車場

ア 管理状況

(平成22年4月30日現在)

財産の区分	所在地	1区画の面積 (m ²)	貸付(使用)料(月額) (円)
行政財産	鳥取市国府町宮下1260番地	12.5	4,000
	鳥取市源太12番地	12.5	1,000

イ 異動状況

(行政・普通財産)

月別	月初日	減	増		月末日	うち減免	うち減免	調定額	収入済額	収入未済額
			増	減						
4月	18人	0人	9人	0人	27人	0人	0人	60,000円		
5月	27	0	0	0	27	0	0	60,000		
6月	27	2	12	0	37	0	0	94,000		
7月	37	8	6	0	35	0	0	89,000		
8月	35	1	1	0	35	0	0	89,000		
9月	35	0	2	0	37	0	0	97,000		
10月	37	4	5	0	38	0	0	98,000		
11月	38	4	3	0	37	0	0	94,000		
12月	37	1	1	0	37	0	0	94,000		
1月	37	11	10	0	36	0	0	90,000		
2月	36	2	3	0	37	0	0	91,000		
3月	37	1	0	0	36	0	0	90,000		
合計								1,046,000	1,042,000円	4,000円

18 自動車（二輪を除く）の管理状況調べ

(平成23年 2月28日現在)

車種	年式	登録番号	取得年月日	総走行 キロ数	本年度			備考
					稼働 日数	(1ヶ月平均) 走行キロ数	修理費等	
軽四輪 貨物自動車	13	鳥取41 い1891	保管換14年4月1日 H13.8.30	75,489	173	(334) 3,677	12ヶ月定期点検 等 55,503円	青谷調査室
軽四輪 貨物自動車	13	鳥取41 い1954	保管換14年4月1日 H13.8.31	74,770	149	(500) 5,507	12ヶ月定期点検 等 24,055円	青谷調査室
合計		2台					79,558円	

19 寄附物件の受納状況調べ

該当なし

20 備品の処分状況調べ

該当なし

21 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

該当なし

2.2 埋蔵文化財の調査と研究

(1) 発掘調査

遺跡名	調査目的	調査面積 調査期間	内容・成果等
青谷上寺地遺跡 (鳥取市青谷町内)	弥生時代後期の中心 域南側における集落 様相の実態解明	300㎡ 5月24日 ～11月30日	遺跡中心域南側を区画する溝と木造建造物の 延長部分を確認するとともに、それらの時代 に伴う変遷が明らかとなった。中心域南側の 集落様相を明らかにしていく上で、大きな成 果と言える。また、本州では初、全国でも9 例目となる中国・前漢の時代に製作された青 銅鏡である「星雲文鏡(せいうんもんきよ う)」が出土し、青谷上寺地遺跡の日本海側 における重要な交易拠点としての位置付け を、さらに高めることとなった。
下市築地ノ峯東通第 3遺跡 (西伯郡大山町内)	一般国道9号 (中山名和道路)の 改築に伴う遺跡の記 録保存	4,829㎡ 4月1日 ～9月3日	弥生時代後期(約1,800年前)の集落跡 及び縄文時代の落とし穴を確認した。
下市築地ノ峯東通第 2遺跡 (西伯郡大山町内)	一般国道9号 (中山名和道路)の 改築に伴う遺跡の記 録保存	7,566㎡ 4月1日 ～12月21日	平安時代の須恵器窯3基と製鉄炉1基、及び 製鉄炉に用いる燃料を生産していたと考えら れる炭窯20基を確認した。当時の生産活動 の具体像が分る貴重な発見となった。
殿河内定屋ノ前遺跡 (西伯郡大山町内)	一般国道9号 (中山名和道路)の 改築に伴う遺跡の記 録保存	10,076㎡ 4月1日 ～12月16日	弥生時代中期(約2,000年前)の集落跡 を確認した。
確認調査 (西伯郡大山町内)	一般国道9号 (中山名和道路)の 改築に伴う遺跡の記 録保存	833.5㎡ 8月23日 ～12月22日	中山名和道路内の遺跡の状況を確認するた めに5遺跡で実施した。5遺跡の内、2遺跡で 遺跡の存在を確認した(◎印)。 <遺跡の内訳> ・下甲退休原第1遺跡 ・殿河内日ノ出峰第1遺跡 ・殿河内日ノ出峰第2遺跡 ・赤坂頭無し遺跡(◎) ・石井垣上河原遺跡(◎)
小竹上鷹ノ尾遺跡 (西伯郡大山町内)	一般国道9号 (名和淀江道路)の 改築に伴う遺跡の記 録保存	8,770㎡ 4月12日 ～9月13日	弥生時代後期(約1,800年前)の竪穴住 居跡2棟、縄文時代の落とし穴を38基など を確認した。
松河原上奥田第2遺 跡 (西伯郡大山町内)	一般国道9号 (名和淀江道路)の 改築に伴う遺跡の記 録保存	2,883㎡ 4月12日 ～9月10日	平安時代の製塩土器を一括廃棄した穴のほ か、古墳時代前期(約1,700年前)の竪 穴住居跡3棟などを確認した。
豊成叶林遺跡 (西伯郡大山町内)	一般国道9号 (名和淀江道路)の 改築に伴う遺跡の記 録保存	400㎡ 8月18日 ～12月20日	遺跡の一部の発掘調査を実施し、中世の段状 遺構や溝などを確認した。
下市前築地遺跡 (西伯郡大山町内)	一般国道9号 (名和淀江道路)の 改築に伴う遺跡の記 録保存	2,187㎡ 8月18日 ～12月24日	古墳時代前期(約1,700年前)の竪穴住 居跡などを確認した。

(2) 出土品の調査研究

○青谷上寺地遺跡出土品の調査研究

青谷上寺地遺跡で出土している金属器に関する調査研究成果を報告書「金属器」に取りまとめ、その成果に基づいて公開中のデータベースを拡充する作業を行った。また、骨角器についても、新たな調査研究成果を「骨角器(2)」として報告書に取りまとめるとともに、公開中のデータベースを拡充する作業を行った。

木製農耕具・漁撈具については、既存資料の再整理を行いながら、来年度の報告書刊行を見据えた比較研究等を行った。

2.3 埋蔵文化財保護思想の普及状況

(1) 普及資料の発行等

ア 遺跡地図の改訂(3月末配布)

市町村単位で遺跡地図の更新(年度ごとに遺跡の新発見や消滅について登録)を行い、県内の文化財保護部局及び開発部局等に配布する。

イ 「とっとり考古学紀行」(年3回、夏号、秋・冬号、春号各20,000部)の発行

県内外からの観光客に県内の考古学に関する最新の情報を提供するためのリーフレットを夏号、秋冬号及び春号の3回発行し、県内の文化観光施設、旅館組合及び道の駅等に配布した。

ウ 「普及パンフレット」の刊行

「鳥取県の考古学年表」を一部改訂して増刷するため、版下を作成。年度内に2,000部印刷。

「火おこしの歴史」を一部改訂して増刷するため、版下を作成。年度内に4,000部印刷。

「石器をつくる」を一部改訂して増刷する。年度内に2,000部印刷。

「発掘調査ってなんだろう？」を一部改訂して増刷する。年度内に3,000部印刷。

エ 図書の刊行

名称	内容等	発行部数		備考
		無償頒布	有償頒布	
鳥取県の考古学第1巻 —旧石器・縄文時代—	遺跡見学のガイドブック、小・中学校の教材として活用してもらうために県内の最新の発掘調査成果を写真やイラストで紹介した図書。県内の小・中・高等学校や県内図書館などに配布。	1,500部	500部	3月末刊行
国史跡青谷上寺地遺跡ミニフォーラム 自然への備えと挑戦 ～青谷上寺地遺跡の土木技術と現在～	10月2日(土)に開催したミニフォーラムの講演記録集として作成。	500部	500部	3月末刊行
青谷上寺地遺跡調査研究年報2010	平成22年度に実施した青谷上寺地遺跡の発掘調査成果の概要をはじめ、青谷上寺地遺跡に関連した調査研究の成果を紹介。県内外発掘調査機関、県内図書館などに配布。	500部	200部	3月末刊行
鳥取県埋蔵文化財センター調査報告33 一般国道9号(名和淀江道路)の改築に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書〔豊成上神原遺跡、豊成上金井谷峰遺跡〕	国土交通省からの委託を受けて平成21年度に実施した発掘調査成果をまとめた。県内外発掘調査機関、県内図書館などに配布。	300部	0部	3月下旬刊行

名称	内容等	発行部数		備考
		無償頒布	有償頒布	
鳥取県埋蔵文化財センター調査報告34 一般国道9号(名和淀江道路)の改築に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書〔倉谷荒田遺跡、松河原上奥田第3遺跡〕	国土交通省からの委託を受けて平成21年度に実施した発掘調査成果をまとめた。 県内外発掘調査機関、県内図書館などに配布。	300部	0部	3月下旬刊行
鳥取県埋蔵文化財センター調査報告35 一般国道9号(名和淀江道路)の改築に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書〔西坪上高尾原遺跡、西坪下馬駄ヶ峰遺跡〕	国土交通省からの委託を受けて平成21年度に実施した発掘調査成果をまとめた。 県内外発掘調査機関、県内図書館などに配布。	300部	0部	3月下旬刊行
鳥取県埋蔵文化財センター調査報告36 一般国道9号(名和淀江道路)の改築に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書〔倉谷西中田遺跡〕	国土交通省からの委託を受けて平成21年度に実施した発掘調査成果をまとめた。 県内外発掘調査機関、県内図書館などに配布	300部	0部	3月下旬刊行
鳥取県埋蔵文化財センター調査報告37 一般国道9号(名和淀江道路)の改築に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書〔樋口西野末遺跡、下市天神ノ峯遺跡〕	国土交通省からの委託を受けて平成21年度に実施した発掘調査成果をまとめた。 県内外発掘調査機関、県内図書館などに配布	300部	0部	3月下旬刊行
鳥取県埋蔵文化財センター調査報告38 一般国道9号(鳥取西道路)の改築に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書〔本高弓ノ木遺跡〕	国土交通省からの委託を受けて平成20年度に実施した発掘調査成果をまとめた。 県内外発掘調査機関、県内図書館などに配布。	300部	0部	3月下旬刊行
鳥取県埋蔵文化財センター調査報告39 青谷上寺地遺跡出土品調査研究報告6 金属器	青谷上寺地遺跡出土の金属器の調査研究成果をまとめた。 県内外発掘調査機関、県内図書館などに配布。	500部	500部	3月末刊行
鳥取県埋蔵文化財センター調査報告40 青谷上寺地遺跡景観復原調査研究報告書	青谷上寺地遺跡の景観復元に関する調査研究成果をまとめた。 県内外発掘調査機関、県内図書館などに配布。	500部	200部	3月末刊行
鳥取県埋蔵文化財センター調査報告41 青谷上寺地遺跡出土品調査研究報告7 骨角器(2)	青谷上寺地遺跡出土の骨角器の調査研究成果をまとめた。 県内外発掘調査機関、県内図書館などに配布。	500部	500部	3月末刊行

オ ホームページでの遺跡情報発信

遺跡の発掘調査や出土品の情報を逐次発信している。

カ 鳥取県の考古学情報の発信「古代歴史への誘い」事業(出前講演)の実施

文化財主事が県内外に出掛け、鳥取県の優れた埋蔵文化財に関する講演(3月6日現在 県内24回、県外7回で 延べ37人)を行い、鳥取県を全国にアピールした。

県内出前講演一覧

実施場所	内 容	参加人数
米子市	青谷上寺地遺跡の骨角器	70名
鳥取市	地下の弥生博物館 ー青谷上寺地遺跡ー	70名
大山町	考古学の基礎の基礎	44名
鳥取市	国史跡青谷上寺地遺跡	57名
鳥取市	地域の歴史や文化について学ぶ	3名
岩美町	古代の火起こしについて	25名
鳥取市	絵図と発掘調査からみた天神山城	30名
鳥取市	古代の火起こしについて	27名
鳥取市	東アジア史（青谷上寺地遺跡）	24名
米子市	古代のお墓と葬式について	70名
鳥取市	青谷上寺地遺跡を学ぶ1	23名
鳥取市	青谷上寺地遺跡を学ぶ2	23名
鳥取市	青谷上寺地遺跡を学ぶ3	24名
鳥取市	青谷上寺地遺跡を学ぶ4	24名
大山町	西坪上高尾原遺跡・西坪下馬駄ヶ峰遺跡の紹介・出土遺物説明	約30名
米子市	発掘調査からわかった古代の鳥取について	24名
米子市	発掘調査出土品が展示されるまで	26名
米子市	三徳山の埋蔵文化財	22名
鳥取市	鳥取県民カレッジ連携講座「未来をひらく鳥取学」	63名
鳥取市	鳥取県民カレッジ連携講座「未来をひらく鳥取学」	42名
鳥取市	展示解説（鳥取県の遺跡・遺物）	約50名
鳥取市	鳥取県における近年の発掘調査成果について	約50名
鳥取市	青谷上寺地遺跡調査成果について	40名
大山町	殿河内定屋ノ前遺跡の発掘調査の紹介・出土遺物説明	10名

県外出前講演一覧

実施場所	内 容	参加人数
鳥根県	鳥取県青谷上寺地遺跡にみる動物利用	30名
松江市	青谷上寺地遺跡からみた弥生時代の生活	34名
山口県	青谷上寺地遺跡が語る弥生人の交流	200名
岡山県	青谷上寺地遺跡出土の骨角器	46名
静岡市	青谷上寺地遺跡の発掘調査	77名
大阪府	環日本海の弥生文化 ～青谷上寺地遺跡の調査から～	40名
出雲市	鳥取県における近年の発掘調査成果について	58名

キ 「こども考古学教室」事業（「こども考古学教室ー弥生の音色ー」）の実施

学校の要望を受けて小学校へ出向き、青谷上寺地遺跡出土楽器の複製品を用いて出前授業を行った。

実施学校名	対 象	人 数
鳥取市立宮ノ下小学校	6年生及び教諭	92名
鳥取市立佐治小学校	6年生及び教諭	14名
鳥取市立浜村小学校	6年生及び教諭	35名
智頭町立智頭小学校	6年生及び教諭	27名
鳥取市立福部小学校	5年生及び教諭	32名
米子市立五千石小学校	6年生及び教諭	22名
倉吉市立山守小学校	6年生及び教諭	12名
倉吉市立上灘小学校	6年生及び教諭	64名
鳥取市立青谷小学校	4～6年生及び教諭	165名

ク 青谷上寺地遺跡土曜講座及び青谷上寺地遺跡ミニフォーラムの開催

鳥取市青谷町総合支所多目的ホールを会場にして、主に地元の方を対象に、最新の調査研究成果を踏まえながら青谷上寺地遺跡の持つ魅力を職員が語る「土曜講座」と、多くの方に青谷上寺地遺跡の調査研究成果と魅力を伝えるためのミニフォーラムを開催した。

土曜講座一覧及び青谷上寺地遺跡ミニフォーラム

	開催日	内 容	参加人数
第1回	6月26日	焼失住居は語る	41人
第2回	8月7日	弥生の海人	30人
第3回	11月6日	ミクロの世界	32人
第4回	12月11日	今年度発掘調査の最新成果	34人
第5回	2月5日	続・文物は海を越えて	30人
ミニフォーラム	10月2日	自然への備えと挑戦 ～青谷上寺地遺跡の土木技術と現在～	113人

ケ 発掘調査現場の公開

遺 跡 名	調査（公開）期間
青谷上寺地遺跡	5月25日～11月29日
下市築地ノ峯東通第3遺跡	4月28日～9月3日
下市築地ノ峯東通第2遺跡	4月28日～12月21日
殿河内定屋ノ前遺跡	4月28日～12月16日
小竹上鷹ノ尾遺跡	4月28日～9月13日
松河原上奥田第2遺跡	4月28日～9月10日
豊成叶林遺跡	8月18日～12月20日
下市前築地遺跡	8月18日～12月24日
確認調査 <ul style="list-style-type: none"> ・下甲退休原第1遺跡 ・殿河内日ノ出峰第1遺跡 ・殿河内日ノ出峰第2遺跡 ・赤坂頭無し遺跡 ・石井垣上河原遺跡 	8月23日～12月22日

コ 発掘調査現地説明会の開催

遺跡名	日 時	人 数
青谷上寺地遺跡	11月6日（土）午前11時から	90人
小竹上鷹ノ尾遺跡	9月11日（土）午後1時30分から	23人
殿河内定屋ノ前遺跡 下市築地ノ峯東通第2遺跡 松河原上奥田第2遺跡	10月23日（土）午後1時30分から	100人
下市築地ノ前東通第2遺跡	11月13日（土） 午後10時30分及び午後2時からの2回	160人
下市前築地遺跡	12月11日（土）午後1時30分から	35人

(2) 常設展示の見学者数

(平成23年 2月28日現在)

ア 埋蔵文化財センター展示室

一 般	児童・生徒	合 計	備 考
159人	408人	567人	一 般 … 個人159人、団体 0人 (0件) 児童等 … 個人 50人、団体358人 (12件)

イ 青谷調査室収蔵展示室

一 般	児童・生徒	合 計	備 考
567人	76人	643人	一 般 … 個人210人、団体357人 (12件) 児童等 … 個人 3人、団体 73人 (2件)

2.4 埋蔵文化財関係職員等の研修

(平成23年3月19日現在)

(単位：日、人)

研修名	計画 (A)			実績 (B)			(B) - (A)		内容及び会場
	研修期間	日数	人員	研修期間	日数	人員	日数	人員	
遺跡調査検討課程	H22. 6. 13	1	60	H21. 6. 13	1	59	0	△1	〈内容〉最新の発掘調査の事例発表や講演を通して、発掘調査に必要な知識や技術の向上を図った。 〈会場〉県立図書館
遺跡測量基礎研修	H22. 9. 16 ・17	2	51	H22. 9. 16 ・17	2	44	0	△7	〈内容〉初めて埋蔵文化財を担当する人や測量業務に携わる人を対象に遺跡測量の方法の習得を図った。 〈会場〉埋蔵文化財センター
発掘技術検討課程	H22. 12. 21	1	15	H22. 12. 21	1	17	0	2	〈内容〉レイアウトソフト「インデザイン」の基礎的技術を学び、報告書等への活用を図った。 〈会場〉鳥取県教育センター
遺物調査検討課程	H23. 3. 19	1	40	H23. 3. 19	1	39	0	△1	〈内容〉講演や事例発表によって鳥取県内における古代の須恵器の様相や編年を検討し、知識の向上を図った。 〈会場〉鳥取市青谷町総合支所
合計	—	5	166	—	5	159	0	△7	

2.5 文化財保護の資料収集及び活用状況

・写真資料のデジタルデータ化 (12月末完了)

埋蔵文化財発掘調査の成果品であるポジフィルムが経年劣化する以前に画像をデジタルデータ化し、コンパクトディスクへ保存した (10遺跡の約3900枚を実施)。

2.6 出土品の整理及び公開状況

(1) 土器の復元

展示等の普及啓発で活用するため、遺跡から出土した土器をもとの形に復元している (18遺跡79点)。

(2) 出土品の展示公開

埋蔵文化財センターが整理を行った出土品を中心に公開した。

展示会名称	会場	会期	内容
‘いにしへのふるさとを掘る’ 写真展	パレットとっとり 市民交流ホール	H22. 5. 13~16	発掘調査された県内の主な遺跡 (17遺跡) を写真で紹介 国史跡因幡国庁跡、国史跡梶山古墳、国史跡栃本廃寺跡、桂見遺跡、本高古墳群、松原古墳群、倭文古墳群、国史跡青谷上寺地遺跡 (以上鳥取市)、小畑古墳群 (岩美町)、長瀬高浜遺跡 (湯梨浜町) 国史跡阿弥大寺古墳群 (倉吉市)、笠見第3遺跡 (琴浦町)、梅田萱峯遺跡 (琴浦町・大山町)、目久美遺跡、陰田遺跡群 (以上米子市)、国史跡妻木晩田遺跡 (米子市・大山町)、霞17号墳 (日南町)

展示会名称	会場	会期	内容
来て！見て！！さわって！！とっとり発掘速報展	ジャスコ鳥取北店 米子駅前サティ パープルタウン	H22, 7, 23～25 H22, 9, 24～26 H22, 10, 15～17	平成21年度調査遺跡の内、中世の遺構が見つかった倉谷西中田遺跡を取り上げ、県内で中世の遺構が見ついている門前鎮守山城跡・押平弘法堂遺跡（以上大山町）、南原千軒遺跡（琴浦町）、長瀬高浜遺跡（湯梨浜町）とともに、出土品と写真パネルによって紹介した。また、青谷上寺地遺跡の平成21年度の発掘調査成果についても紹介。 なお、青谷上寺地遺跡、桂見遺跡・岡益廃寺（以上鳥取市）、長瀬高浜遺跡（湯梨浜町）、笠見第3遺跡（琴浦町）、法城古墳（南部町）の出土品をタッチングする体験コーナーを開設した。
新発見！とっとり・しまね発掘速報展	島根会場： 出雲弥生の森博物館 鳥取会場： 鳥取県立図書館	H23, 1, 15～2, 13 H23, 2, 19～3, 13	山陰両県の最新の考古学成果として、10遺跡約300点の出土品（鳥取県からは青谷上寺地遺跡、本高古墳群、下市築地ノ峯東通第2遺跡、倉谷西中田遺跡、殿河内定屋ノ前遺跡の発掘調査成果）を展示した。 鳥取・島根両県の連携事業
埋蔵文化財センター常設展	鳥取県埋蔵文化財センター	H22, 4, 1～H23, 3, 31	埋蔵文化財センターの収蔵品である青谷上寺地遺跡、桂見遺跡、南原千軒遺跡、笠見第3遺跡、湯坂遺跡、長瀬高浜遺跡、岡益廃寺などから出土した土器の展示を通して、鳥取県の古代の土器の移り変わりを紹介した。また、下味野童子山遺跡出土住居を復元模型で紹介した。
埋蔵文化財センター青谷調査室収蔵展示室常設展示	埋蔵文化財センター青谷調査室収蔵展示室	H22, 4, 1～H23, 3, 31	青谷上寺地遺跡で出土した木製品を中心に収蔵を兼ねて約300点を展示公開している。また、ETV特集で取り上げられ、NHKから寄贈を受けた人間国宝製作の作品3点と、その際に併せて復元製作された鉄製品をはじめ、緑土が塗られた楯の復元品、新しく作製したレプリカや過年度に保存処理が終了した木製品についても展示公開している。

(3) 出土品等の貸し出し

ア 展示への貸出

貸出先	貸出物
荒神谷博物館（島根県斐川町）	青谷上寺地遺跡出土鳥形木製品ほか 計11点
出雲市長 ＜出雲弥生の森博物館＞（島根県出雲市）	青谷上寺地遺跡出土朱塗り楯ほか 計61点
静岡市教育委員会 ＜静岡市立登呂博物館＞（静岡県静岡市）	青谷上寺地遺跡出土器台ほか 計31点
島根県立古代出雲博物館（島根県出雲市）	青谷上寺地遺跡出土線刻礫ほか 計2点
鳥取県立博物館	青谷上寺地遺跡出土遺物レプリカ、桂見遺跡出土縄文土器 深鉢ほか 計58点 青谷上寺地遺跡出土ヤスほか 計33点
むきばんだ史跡公園	梅田萱峯遺跡出土弥生土器・分銅形土製品ほか 計26点
出雲市長 ＜出雲弥生の森博物館＞（島根県出雲市）	笠見第3遺跡出土石器、湯坂遺跡出土玉類ほか 計62点
むきばんだ史跡公園	笠見第3遺跡出土玉類ほか 計29点
静岡市教育委員会 ＜静岡市立登呂博物館＞（静岡県静岡市）	青谷上寺地遺跡出土盾レプリカほか 2点

イ 写真ネガ等の貸し出し

貸出先	貸出物
鳥取市観光コンベンション推進課	青谷上寺地遺跡発掘調査風景 1点
鳥取市青谷町総合支所 青谷上寺地遺跡展示館	青谷上寺地遺跡出土星雲文鏡 1点 青谷上寺地遺跡出土ト骨ほか 計29点 青谷上寺地遺跡出土鈎状骨角器ほか 計55点 青谷上寺地遺跡SD11全景ほか 計45点 青谷上寺地遺跡出土絹織物 1点 青谷上寺地遺跡出土骨角製櫛 1点 青谷上寺地遺跡第12次調査写真ほか 計24点
荒神谷博物館（島根県斐川町）	青谷上寺地遺跡出土鳥形木製品ほか 計15点 青谷上寺地遺跡出土骨角器集合写真 1点
新潟大学旭町学術資料展示館（新潟県新潟市）	青谷上寺地遺跡出土人骨写真 計2点
静岡市教育委員会 ＜静岡市立登呂博物館＞（静岡県静岡市）	青谷上寺地遺跡出土器台ほか 計55点 青谷上寺地遺跡遠景写真 1点
島根県立古代出雲博物館（島根県出雲市）	青谷上寺地遺跡出土線刻礫ほか 計2点
兵庫県立考古博物館（兵庫県加古郡）	青谷上寺地遺跡出土高杯ほか 計8点
静岡市立登呂博物館（静岡県静岡市）	青谷上寺地遺跡出土花卉高杯ほか 計11点
株式会社パルスクリエイティブハウス	青谷上寺地遺跡出土木製容器集合写真 1点
株式会社小学館	青谷上寺地遺跡出土骨角器集合写真ほか 計2点
株式会社山陰ビデオシステム	青谷上寺地遺跡遠景写真ほか 計16点
株式会社有斐閣	青谷上寺地遺跡出土鉄器集合写真 1点
むきばんだ史跡公園	青谷上寺地遺跡出土かご 計2点 梅田萱峯遺跡調査区遠景写真ほか 6点
出雲弥生の森博物館（島根県出雲市）	青谷上寺地遺跡出土銅剣形骨角器ほか 16点
財団法人自然公園財団鳥取支部	長瀬高浜遺跡畠跡写真 1点
土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム	青谷上寺地遺跡出土木製品写真 1点
湖山池情報プラザ	桂見遺跡丸木船出土状況写真 1点
むきばんだ史跡公園	笠見第3遺跡調査後状況写真ほか 8点
輝く大岩をつくろう実行委員会	小畑古墳群調査区遠景写真ほか 3点
鳥取県中学校教育研究会社会科部会	霞17号墳出土勾玉一括写真 1点

ウ 出前授業等への貸出

貸出先	貸出物
鳥取市教育委員会	青谷上寺地遺跡出土弥生土器・木製品ほか 計5点
鳥取市教育委員会	石鏃づくり道具一式 20セット
個人（ボーイスカウト活動）	火起こし道具一式 5セット
智頭町立山郷小学校	火起こし道具一式 4セット
鳥取市立西中学校	縄文土器・弥生土器 計4点
琴浦町商工観光課（白鳳祭実行委員会）	火起こし道具一式 5セット
鳥取県立博物館	石鏃づくり道具一式 22セット
智頭枕田縄文遺跡の保存活用を推進する会	火起こし道具一式 10セット
美保南小学校あおぞら児童クラブ	火起こし道具一式 2セット
稲葉山小学校元気っ子児童クラブ	火起こし道具一式 3セット
北栄町教育委員会	火起こし道具一式 6セット
鳥取市立美保小学校	火起こし道具一式 10セット

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等

該当なし

(2) 監査委員事務局に対する要望等

該当なし